

## 令和7年度 第2回 学校運営協議会 議事録

令和7年10月27日（月）午後1時15分～3時10分  
静岡県立掛川東高等学校 第1応接室

### <次第>

- (1) 校長挨拶及び学校近況説明
- (2) 授業見学
- (3) 意見交換
- (4) 連絡等

### <学校運営協議会委員>

くれまつ かずき 樽松 一樹	元公立高等学校長
しばた かつあき 柴田 勝明	掛川市立西中学校長
はなむら かずひこ 花村 和彦	自治区代表（亀の甲区）
いたくら ひろみち 板倉 弘充	前PTA会長
なかやま ともみ 中山 朋美	掛西学園地域コーディネーター
まつうら のぞみ 松浦 望	子育てセンターとものもり副園長

### <静岡県立掛川東高等学校 担当職員>

むらた そういち 邑田 聡一	校長	わたべ よしのり 渡部 芳典	教頭
こすぎ ゆうすけ 小杉 友祐	副校長	すぎもと じん 杉本 仁	事務長

### <連絡事項>

- 1 第3回学校運営協議会開催予定について
  - ・2月9日（月）PM 学校自己評価報告等
  - ・学校関係者評価委員会を兼ねた実施となります。
- 2 その他
  - ・2月10日（火）PM 総合探究発表会

## ＜生徒の状況と教育に関する意見・感想について＞

生徒の様子：どの学年も落ち着いた雰囲気、全ての生徒が前向きかつ真面目に取り組んでいた。ICT 活用が日常化しており、次世代に必要なスキルが着実に習熟されていると感じた。

ICT を活用と教材の工夫：小中学校からの ICT 教育が高校でも継続されており、接続性が良い。特に、生徒の習熟度に応じた手作り教材や視覚的な工夫が見られ、個別最適な学びが具現化されていると感じた。

「書く」ことの意義：授業内で小テストやワークシート（記述式）が行われていたが、「自分の手で字を書くこと」は、教育において引き続き重要であると考えている。

## ＜学校の取り組みと今後の課題・提案について＞

ドローン活用：「高校生ドローン防災航空隊」への参画や、公式 SNS での動画発信は、実践的な学びとして非常に高く評価できる。今後も継続的な発展を期待したい。

学習支援ボランティア（校種間連携）：

- ・東高生が中学校に来て勉強を教えてくれた。参加した中学生は喜んでおり、高校生の中には教員志望の生徒もいたようで、双方にとって非常に有意義な経験となった。
- ・「高校生が中学生へ、中学生が小学生へ」という学習支援の流れを構築し、市全体で学校間の行き来や交流をさらに充実させていけると良い。

合理的配慮への相談と対応：中学校や保護者と情報を共有し、高校でどのような合理的配慮（音声教材の活用やワークシートの工夫など）ができるかを検討する体制が必要である。また、安心して相談できる体制を整えることも重要である。

今後の教育の課題：

- ・一人で個別学習を進めるだけでなく、ICT を活用して「いかに子供同士が協働して学ぶか」を重視していけると良い。
- ・共同学習の経験は、将来社会に出た際のコミュニケーション能力に直結する。

ヘルメット問題：

- ・ヘルメットの着用率が低いことについて、社会全体の傾向として見られることを共有した上で、高校生にどのように啓発していくか丁寧に考えていく必要がある。
- ・規則で強制するのではなく、必要性を感じて自発的に安全を考えて着用してほしいという思いがある。

地域コミュニティスペースの要望：

- ・生徒が学校外で活動したり、交流できたりするコミュニティスペースが街中にあると良いという意見交換があり、既存のコミュニティスペースの紹介があった。